

# 平成23年上半期の災害出動件数

平成23年上半期の火災件数は4件で、前年(6件)より2件減少しました。

これを種別ごとにみると、建物火災2件(前年3件)、林野火災1件(前年2件)、その他火災1件(前年1件)でした。

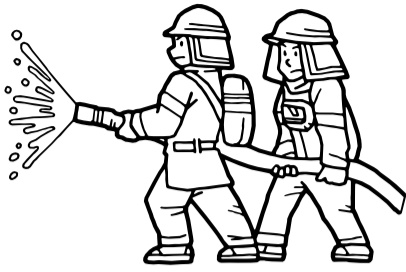
火災による死傷者は無く、損害額は3万7千円(前年4,454万1千円)でした。

救助出動件数は11件で、前年(7件)より4件増加しました。また、救急出動件数は641件(前年620件)で、搬送人員は598人(前年603人)となり、前年と比較すると出動件数は21件増加し、搬送人員については5人減少となりました。

事故種別では、急病401件(前年371件)で30件の増加、一般負傷123件(前年107件)で16件の増加、交通事故54件(前年68件)で14件の減少となっています。

年齢区分別にみると、乳幼児37人、少年28人、成人197人、高齢者336人となっています。

▶問合せ 消防本部 (☎766-0119)



▶町内の道路の様子



▶道路に異変があれば…こんな時は連絡を

▶アドプト・プログラムに参加しませんか

▶愛護活動の様子

# 8月は道路ふれあい月間

「不思議だね この道歩くと ほつぷる」

国道・県道・町道が皆さんの生活を支えています

道路は私達の生活の中で身近な存在で欠かすことのできないものです。また、災害など緊急時には、住民の生命を守る生命線となります。

しかし、身近な存在のため、普段はその重要性が見過ごされがちです。これらの道路を安全通行

できるように、各道路管理者が日常パトロールを行い、危険な箇所の点検や利便性を向上させる整備を必要に応じて行っています。

また、地域の中でも自治会を中心に道路・河川の清掃美化や草刈り、クリーンアップ作戦など、積極的な道路・河川愛護活動が町内全域で行われています。

地域で行われる際には、ぜひ協力ください。

道路に異変があれば…こんな時は連絡を

☆道路に穴があいている ☆道路に倒木や落石がある ☆道路の照明灯の電球が切れている

※その他、ゴミ・空き缶のポイ捨て、無断の貼り紙、はみ出し看板の設置はやめましょう。また、車庫への段差解消ブロックも通行の

町では、道路愛護活動の一環として、「アドプト・プログラム(里親制度)」を実施しています。

これは、公園・緑地・道路などの一定区域・区間を、清掃美化や草刈り、植栽などのボランティア活動を、年間を通して行うことを目的に、県



町では、道路愛護活動の一環として、「アドプト・プログラム(里親制度)」を実施しています。

これは、公園・緑地・道路などの一定区域・区間を、清掃美化や草刈り、植栽などのボランティア活動を、年間を通して行うことを目的に、県

町では、道路愛護活動の一環として、「アドプト・プログラム(里親制度)」を実施しています。

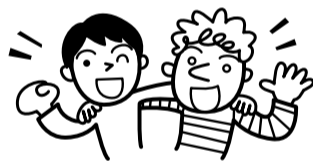


▲通行の障害になり危険な段差解消ブロック

や町と活動団体とが合意書を締結して「養子縁組」を行い、活動団体に資材などを提供する制度です。地域の皆さんが地域に愛されるきれいな道路や公園づくりを、自分たちで進める誰でも参加できる制度となつていきますので、積極的な参加をお待ちしています。

▼問合せ 建設営繕課 (☎766-8705)

# 海外留学生を経済的に援助します



等専門学校・専修学校・短大・大学の在学学生で、海外の学校に6カ月以上の留学が決定し、保護者が町内に在住する人

▼貸付金額 1人1回限り50万円

▼申込 8月10日～同31日(土・日除く)までに学校

教育課に備え付けの申請用紙に記入し必要書類を添えて提出

▼問合せ 同課 (☎766-6000)

# 精霊流しの一括法要に協力願います

河川保全の観点から、お供え物は河川へ流さずクリーンセンターにて一括法要いたします。

お供え物の出し方は、各自治会で決められた方法に従ってください。

▼実施日 8月15日(月) 午前8時

▼法要 午前9時、場所 クリーンセンター

▼主催 町環境衛生推進協議会

▼問合せ 同センター (☎768-0818)

# スポーツフェスタを開催

いろいろなスポーツを体験してみませんか? スポーツ未経験の人、歓迎します

◆とき 8月21日(日) (午前9時50分～開会式)

【午前の部】午前10時～正午(受付:同9時30分)

【午後の部】午後1時～同3時(受付:同0時40分)

競技種目 剣道・卓球

グ・スローイング・ビンゴ・クォーターテニス・スポーツ吹き矢

◆ところ 文化体育館(イナホール)

◆参加費 無料

◆申込み・問合せ 同館 (☎766-7400)



とり、身体の表面に水をかける。両足の付け根・両脇・首のまわりなどを冷やす) ▶水分の補給(大量の汗をかいた場合はスポーツドリンクなどのように適度に塩分、糖分を含んだもの)で改善します。

しかし、水分補給ができない場合や意識障害がある場合は、病院で治療を受けてください。

予防には、◆薄着にして帽子をかぶる◆こまめに水分を取る◆体調の悪い時は涼しい環境で過ごす◆睡眠を十分に取る◆アルコールを取りすぎない◆普段は適度に汗をかき、エアコンを使いすぎないようにするなどです。

栄養面では、ビタミンやミネラルの豊富な旬の野菜・豚肉・海草・貝類・玄米・豆類などを食べましょう。

水分や冷たい物のとりすぎで食欲のないときは、カレーやキムチなど香辛料を使ったものもおすすです。

以上に気をつけて暑い時期を乗り切ってください。



# 熱中症について

船田医院 大江さつき 医師

今年は例年より早く梅雨明け宣言が出され、熱中症が心配な夏がやってきました。

熱中症とは、暑い環境で身体に発生する障害のことで、熱けいれん(大量に汗をかき、血液の塩分が低下して起こる筋肉痛を伴うけいれん)、熱疲労(脱水による倦怠感・めまい・頭痛・吐き気)、熱失神(脳の血流の減少によるめまい・失神)、熱射病(体温の上昇による意識障害)に分けられます。

対策としては、▶涼しい場所で体を冷やすこと(衣服を